平成27年度～平成30年度 行財政改革取組実績

平成27年度分の実績取りまとめから予算事業ごとの評価方法に取り組み、実績を数値化して公表してきました。平成28年度分の取りまとめからは、新たに導入したシステムを活用した方法に切り替え、集計方法を改善しました。

これまでにない取り組みとして、市有地の売却、市と葉山町との燃やすごみの共同処理、人件費の削減、受益者負担の適正化及び公共施設のマネジメント等の取り組みと市民の皆さまのご理解、ご協力により効果を得ることが出来ました。

平成27年度から平成30年度までに行財政改革に取り組んだ実績は次のとおりです。

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		4年間実績	
	報告件数	効果額	報告件数	効果額	報告件数	効果額	報告件数	効果額	報告件数	効果額
1 行政力の向上 ～行政運営の改革～	74	27,130,201	65	49,653,898	59	512,803,213	47	275,578,357	245	865,165,669
(1) 事務事業の見直し	39	3,450,727	32	25,887,837	26	47,878,471	20	2,410,040	117	79,627,075
(2) 行政計画の進行管理	2		6		3	72,000	3		14	72,000
(3) 業務プロセス改善の推進	22	9,961,295	7	10,808,271	9	374,583,493	6	19,544,357	44	414,897,416
(4) 民間委託等の推進	4	1,393,752	8	11,226,734	6	4,922,937	5		23	17,543,423
(5) 指定管理者制度の充実	2	11,684,588	6	1,731,056	8	219,000	7	5,898,513	23	19,533,157
(6) 関係団体との連携強化	3	639,839	5		6	85,127,312	6	247,725,447	20	333,492,598
(7) 情報システム全体最適化方針の推進	1		1		1				3	
(8) 市民対応力の向上	1								1	
2 財政力の向上 ～財政運営の改革～	15	38,980,089	18	85,101,899	18	8,805,994	20	72,157,461	71	205,045,443
(1) 経費の節減合理化等財政の健全化	2		8	11,970,386	8	5,259,863	9	3,860,199	27	21,090,448
(2) 財政指標の改善	1								1	
(3) 受益者負担の適正化	4	38,980,089	4	65,700,033	3	3,546,131	3	68,278,433	14	176,504,686
(4) 固定資産台帳の整備	1								1	
(5) 公共施設マネジメント	5		5	7,431,480	5		7	18,829	22	7,450,309
(6) 公会計の活用	1								1	
(7) 特別会計（下水道事業）から企業会計への移行	1		1		2		1		5	
3 組織力の向上 ～組織・ヒトの改革～	6		5		5		5		21	
4 地域力の向上 ～市民自治・市民協働の推進～	20	102,900	15	250,560	16	1,028,289	16	12,008,613	67	13,390,362
(1) 市民自治・市民協働の制度化	9		10	250,560	9		8	717,860	36	968,420
(2) 情報の利活用と共有による地域活性化	4	102,900							4	102,900
(3) シティプロモーション	7		5		7	1,028,289	8	11,290,753	27	12,319,042
その他			2	31,229,781	1		2	5,997,841	5	37,227,622
合計	115	66,213,190	105	166,236,138	99	522,637,496	90	365,742,272	409	1,120,829,096

平成27年度実績概要

●指定管理者制度の充実（効果額：約1,168万円）

市内の公共施設の一部を、指定管理者（委託業者）に運営を委託しました。サービス水準を維持しつつ、コスト削減を進める等した結果、平成26年度と比較してコストが削減となりました。

●受益者負担の適正化（効果額：約3,898万円）

施設使用料の見直し、家庭系ごみの有料化等を進めた結果、平成26年度と比較して増収となりました。

平成28年度実績概要

●指定管理者による運営の見直し（効果額：約173万円）

指定管理者に対して、外部委員会による中間評価を実施しました。指定管理者に対して、毎月一回のモニタリングを行い、管理運営の確認と指導を実施しました。

●LED照明化による見直し（効果額：約1,061万円）

市内の街路灯を蛍光灯からLEDに置き換えることによって、電気代を大きく削減できることから。その削減額を基に民間事業者へLED照明の設置、維持管理等を委託しました。さらに、電気代の削減に合わせて自治会、商店街等が管理する街路灯の交付金を見直しました。

●庁舎電力の見直し（効果額：約477万円）

庁舎の電力供給について、災害時の安定供給や他市の契約状況等を検討した上で、一般競争入札を実施し、電気料金の削減を図りました。

●市有地の売却（効果額：約603万円）

市有地（雑種地及び公衆用道路用地）の売払いを進めました。

●池子の森自然公園駐車場有料化（効果額：約86万円）

平成28年12月より池子の森自然公園駐車場を有料化し、受益者負担の適正化を推進しました。

●時間外勤務手当の削減（効果額：約2,167万円）

各課かいで事務・事業の見直しなどを行うなどの結果、実績額が前年度より削減されました。（災害対応、選挙経費を除く。）

平成29年度実績概要

●安全で快適な海水浴場設置・運営方法の見直し（効果額：約102万円）

逗子海岸営業協同組合の協力を得て、監視所及び救護所となる建物を借用することで、リース料の削減を図りました。さらに、条例の周知が図られたこと及び過去の注意傾向等を勘案し、マナーアップ警備員を減員して委託料の減額を図りました。

●放置自転車の撤去や運搬業務の見直し（効果額：約94万円）

緊急時や歩行者、障がい者等の安全を図るため、放置自転車等巡視啓発撤去運搬業務の実施日や作業内容について、一律に行うのではなく、緩急をつけ費用対効果の向上を図りました。

●桜山中央公園の維持管理方法の見直し（効果額：約56万円）

平成28年度の大崎公園に続き、桜山中央公園についてもボランティア団体と現場職員との共同作業により、委託料を削減することができました。

●人件費の削減（効果額：約4,273万円）

継続して実施してきた業務可視化による業務効率の向上及び働き方改革の推進等の取り組みを進めた結果、時間外勤務手当（災害対応、選挙経費を除く。）の削減につながりました。

●市有地の売却（効果額：約3億7,296万円）

普通財産（小坪飯島普通財産及び旧山の根市営住宅用地）の売払いを進めました。

●市と葉山町との燃やすごみの共同処理の取り組み（効果額：約8,512万円）

平成29年7月から平成30年3月末までの間に、約2,800トンの燃やすごみを葉山町から受け入れ、焼却処理を実施しました。このことにより、同町から「ごみ処理負担金」が本市へ納入されました。

平成30年度実績概要

●市有地の売却（効果額：約1,426万円）

普通財産（雑種地及び公衆用道路用地）の売払いを進めました。

●市と葉山町との燃やすごみの共同処理の取り組み（効果額：約2億115万円）

平成30年4月から平成31年3月末までの間に、約5,600トンの燃やすごみを葉山町から受け入れ、焼却処理を実施しました。このことにより、同町から「ごみ処理負担金」が本市へ納入されました。

●市と葉山町とのし尿処理の共同処理の取り組み（効果額：約1,562万円）

し尿および浄化槽汚泥処理を葉山町へ事務委託（全量）により、し尿処理施設の維持管理経費を削減すると共に、し尿の収集・運搬及び浄化槽汚泥の清掃を許可業者制へ移行することにより、委託費用の削減につながりました。

●逗子市観光協会に対する事業費補助の見直し（効果額：約2,113万円）

市内事業者を始めとする民間企業との協働により自主財源確保に努め、事業費補助の削減につながりました。

●学校開放事業の運営の見直し（効果額：約262万円）

業務委託していた逗子小学校施設について、市民交流センター指定管理者の管理業務に移行し、事業費の削減につながりました。

●市民協働及び庁内の横断的な取組によるプロジェクト運営の見直し（効果額：約113万円）

自然の回廊プロジェクト推進事業において、市民協働による管理、イベントの開催、他部署講座とコラボレーション等工夫し、事業費の削減につながりました。